

小野田支部事業報告

支部長 土井直子

活動目標	地域における看護職の連携強化と看護力の向上
評価と今後の課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止で、延期や中止となるものもあった。教育研修会は、企業の共催をせず、病院の施設がホストとなり実施したが、慣れないことも多く、個人登録者が参加できないこともあった。オンラインは、自宅でも参加できメリットも大きいですが、その点では、課題が残る。地域の動画投稿参加では、編集作業に時間を要したが、音楽を含め著作権の問題等で作成どおりにいかず、満足が得られない結果となった。対面による事業内容を実施可能な方法に計画を修正変更して今後も取り組むことが課題である。
事業項目	事業内容
1 看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 1回(教育委員会) R5.2.9(木)17:30~18:20 「せん妄～薬物療法と非薬物療法について～」 講師：山口労災病院 認知症看護認定看護師 原川真由美先生 受講者：116人(参加施設9施設・個人登録15人 アンケート回答数、その他4人含む)
2 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職の健康増進促進事業 「SOS健康フェスタ」に感染予防のための手指衛生、看護職の写真、展示ブース設置(健康手帳リーフレット等)
3 地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」行事：中止 2)「国際助産師の日」/「いいお産の日」行事：中止 3)「まちの保健室」：中止 4)山陽小野田市「第13回SOS健康フェスタ」のオンラインイベントへ動画を投稿 (YouTubeでイベント期間中配信) 動画内容：感染予防のための手指衛生、看護職の写真、展示ブース設置 5)看護体験実施：実施可能な施設で実施 6)在宅療養支援に係る看護職の連携推進強化事業(宇部支部と合同) (1)検討会 3回 (2)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 実施せず
4 会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	支部交流会中止
5 その他本会の目的を達するために必要な事業(公益/収益等/法人)	1)支部集会 R4.7.23(土) 出席者 18人 委任状 532人 2)支部役員会 5回 3)支部委員会 (1)教育委員会 4回 (2)職能委員会 4回 (3)推薦委員会 2回 (4)選挙管理委員会 1回 4)支部活動の充実 (1)地域会議への出席 (オンライン会議・書面会議含む) ①山陽小野田市健康づくり推進協議会 1回 ②宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議 (オンライン会議2回) ③山陽小野田市在宅・医療介護連携推進協議会 3回 ④山陽小野田市在宅・医療介護連携推進協議会連携システム部会 2回 ⑤宇部・小野田保健医療圏 圏域会議 1回 ⑥新型コロナウイルス感染症対策圏域会議 1回 5)広報活動 (1)県協会報「きらめき」のへ投稿